

2026 年 9 月 1 日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

ヘルスケアインダストリ部会と国土交通省が CEATEC 2026 に共同出展

「停電は寸断する、誰かの生命も」

在宅医療を止めない社会の実現へ、医療機器業界・行政・自動車業界が連携

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）のヘルスケアインダストリ部会は、2026 年 10 月 13 日(火)より 4 日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）にて開催される国内最大級のデジタルイノベーション総合展「CEATEC 2026」（主催：JEITA）において、国土交通省と共同で、災害時における在宅医療機器への電源確保をテーマとした展示を実施することを発表しました。

在宅で人工呼吸器や酸素濃縮器等の医療機器を使用する患者や医療的ケア児等にとって、災害時の停電は医療継続を左右する重大な課題です。今回の展示では、「停電は寸断する、誰かの生命も」をブースコンセプトに、一般社団法人日本自動車工業会（JAMA）の協力のもと、医療機器業界、行政、自動車業界がそれぞれの知見や技術を持ち寄り、「災害時も在宅医療を止めない」という共通の社会課題の解決に向けた取り組みを紹介します。業界や立場を越えた共創を通じて、災害時も安心して在宅医療を継続できる社会の実現を目指します。

■背景－災害時の停電が在宅医療に与える影響

地震や豪雨等の自然災害が相次ぐ中、全国各地で停電が発生しています。在宅医療では人工呼吸器や酸素濃縮器等電力を必要とする医療機器が数多く使用されており、停電は患者の療養生活に大きな影響を及ぼします。一方で、非常時に利用できる電源やそれらに求められる仕様等について十分な情報が整理・共有されていないことが課題となっています。

■調査－現場の実態把握

JEITA ヘルスケアインダストリ部会では、ポータブル電源で医療機器に電源供給した際の機器の動作等利用実態について調査・検証を行い、「災害時における医療機器の安全利用に関する調査報告書」を取りまとめました。また、患者・家族や支援者に対し実施した、災害時における医療機器に対するポータブル電源等の利用実態調査等を通じて、災害時の電源確保に際しての課題の把握を進めています。

- ・ 災害時における医療機器の安全利用に関する調査報告書
[災害時における医療機器の安全利用に関する調査報告書の発行について | JEITAヘルスケアインダストリ部会](#)
- ・ 関連動画
[災害時におけるポータブル電源と医療機器の安全利用に関する調査－災害時の医療機器稼働、ポータブル電源の安全利用に向けて－](#)

■CEATEC 2026 での展示—行政・自動車業界との共創

会場では、JEITA がこれまで取り組んできた調査・検証の成果や、患者・家族、支援者へのアンケートを通じて寄せられた現場の声を紹介します。また、国土交通省の「災害時における電動車等から医療機器への給電活用マニュアル」を踏まえ、JAMA の協力のもと、電動車等を活用した給電方法のデモンストレーションを実施します。医療機器業界、行政、自動車業界が連携して、災害時の在宅医療を支える新たな仕組みづくりを目指します。

- ・国土交通省「災害時における電動車等から医療機器への給電活用マニュアル」
[報道発表資料:災害時に電動車は医療機器への非常用電源としても使えます・国土交通省](#)

共同出展者：国土交通省



協力：一般社団法人日本自動車工業会（JAMA）



<出展場所>

ブース番号：5H-314-01

エリア：Hall 5 X (Transformation) パーク 暮らしの DX パビリオン内

■コンファレンス

展示とあわせてコンファレンスを開催します。JEITA の調査報告書や国土交通省マニュアルの概要を解説するとともに、医療現場の声や、行政・産業界・医療関係者の連携について紹介・議論します。

タイトル：災害時の実態からつながる医療インフラへ
～ポータブル電源と EV 給電が拓く在宅医療の新しい選択肢～

日時：2026 年 10 月 14 日(水) 10:00～11:00

場所：幕張メッセ 国際会議場 201 会議室

聴講予約：[CEATEC 2026 公式サイト](#)よりお申し込みください

■今後の展望

JEITA は、国土交通省、JAMA をはじめとする関係機関との連携をさらに深め、災害時における在宅医療機器の電源確保に関する理解促進と社会実装を推進してまいります。本展示を契機に、医療・行政・産業界の共創を促進し、災害時も安心して在宅医療を継続できる社会の実現を目指します。